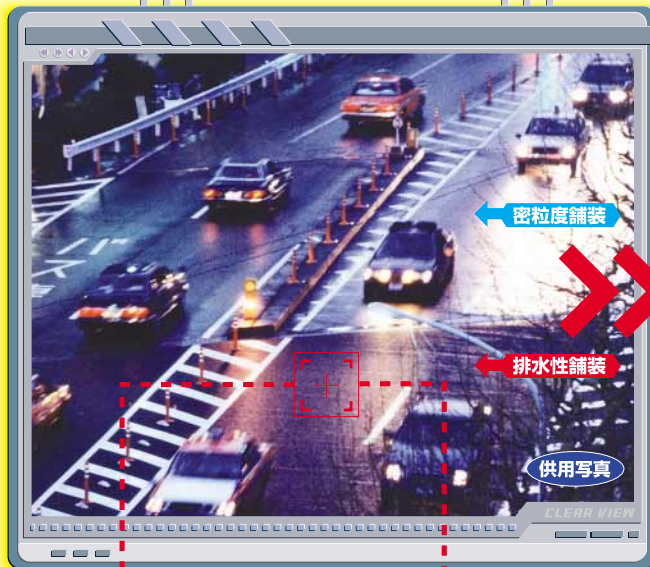


ポーラスアスファルト混合物用バインダ
(ポリマー改質アスファルトH型)

パーミバインダー

ポーラスアスファルト混合物は高い空隙率をもつことから、一般的な密粒度アスファルト混合物と比較して、日光、空気、水などの影響を受けやすくなります。そのため、骨材の把握力、粘着力、剥離抵抗性に優れたアスファルトが必要です。パーミバインダーはこれらの性能を高めて、舗装の耐久性を向上するポリマー改質アスファルトです。

パーミバインダー DIGITAL SCOPE



パーミバインダーの特徴

ポーラスアスファルト舗装はハイドロプレーニング現象や水はねを抑制し、走行車両の安全を確保するとともに、路面の反射光を減少させ、夜間の視認性を向上させます。さらに交通騒音の低減、わだち掘れの減少などの効果も併せ持っています。



ポーラスアスファルト混合物の粗骨材をしっかりグリップします。

1 軟化点が高く、耐流動性に優れています。

2 骨材に対する把握力に優れています。

3 施工性は従来のアスファルト混合物と同様に行うことができます。

4 耐久性に優れています。

バインダ代表性状

項目	単位	代表性状	社内規格
軟化点	℃	91.5	80.0以上
伸度 (15℃)	cm	100+	50以上
タフネス (25℃)	N·m	25.5	20.0以上
針入度 (25℃)	1/10mm	50	40以上
薄膜加熱質量変化率	%	-0.08	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	82.0	65以上

ポーラスアスファルト混合物の適用

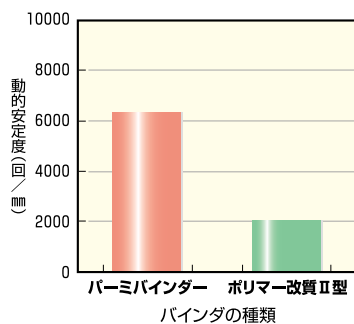
ポーラスアスファルト混合物は

- ①排水機能を有する**排水性舗装**………雨水を路面下に速やかに浸透させ、排水させる
- ②透水機能を有する**透水性舗装**………雨水を路床まで浸透させたり、雨水流出を遅延する
- ③騒音低減効果を有する**低騒音舗装**…エアポンピング音の抑制やエンジン音を吸音するなどの舗装に使用します。

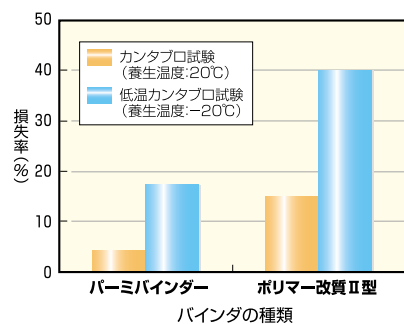
混合物性状

ポーラスアスファルト舗装の耐久性を確保するためには、パーミバインダー（ポリマー改質アスファルトH型）の適用が不可欠です。

■ホイールトラッキング試験



■カンタブロ試験



推奨する製造および施工温度

項目		推奨温度 (℃)
混合物製造時	混合温度	165±10
	敷均し温度	150以上
舗設時	初期転圧温度	140以上
	二次転圧温度	70程度

施工

パーミバインダーを用いたポーラスアスファルト混合物の施工は一般的なアスファルト混合物と同様に行うことができます。その際、温度管理には十分留意してください。

パーミシリーズ

当社ではポーラスアスファルト混合物用バインダーとして適用箇所に応じたラインナップを構成しています。

- 鋼床版のたわみに追従する…………… **パーミバインダー-K**
- 骨材飛散が問題となる寒冷地には… **パーミバインダー-F**
パーミバインダー-SF
(高耐久型)
- 重交通路線や小粒径には…………… **パーミバインダー-HD**
- ネジレ作用の厳しい箇所には…………… **パーミバインダー-G**